
2010 年度

会 員 募 集 要 項



社団法人 小千谷青年会議所

2010年度 社団法人小千谷青年会議所

会員募集要項

1. 募集要件

(1) 募集主旨

青年会議所（JC）は、“明るい豊かな社会”の実現を共通の理想とした、次の代の担い手たる20歳から40歳までの指導者たらしとする青年の団体です。

その事業理念として“社会と人間の開発”を掲げ、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、自由を基盤とした民主的集団指導力の開発を推し進めています。

当会議所も63名の会員を擁し、全国の組織と連帯しながら地域社会に密着した独自の活動を続けています。そして、英知と情熱ある青年を求めて門戸を開いています。

(2) 会費及び入会金

会費 9,000円/月 入会金 20,000円

会費は、1月末と5月末にそれぞれ半年分（54,000円）を徴収します。

(3) 入会資格その他（当青年会議所定款及び会員資格規定より）

- ・ 小千谷市及び小千谷市の近隣地域に住所又は勤務先を有する20歳以上40歳未満の品格ある青年であること。
- ・ 入会希望者は、本会議所正会員2名以上の推薦（紹介者）を必要とする。
- ・ 入会申込書提出後
 - 1) 入会申込書が提出された直後の理事会にはかり、仮入会の諾否を決する。
 - 2) 仮入会の期間は2ヶ月間とし、仮入会の承認を受けた者は、オブザーバーとして、例会及び本会議所が主催又は主管する事業に積極的に参加し、この期間の終了後、理事会において正式入会の可否を決定する。

(4) 募集期間

2009年12月1日～2010年11月30日

(5) 申し込み方法

別紙「入会申込書」に必要事項をご記入の上、推薦者（紹介者）を通じ、又は直接当会議所事務局へお申し込み下さい。

(6) 詳細についての問い合わせ先

詳細についてのお問い合わせは、(社) 小千谷青年会議所事務局宛にお願い致します。

〒947-0021 新潟県小千谷市本町2丁目1-5 小千谷商工会議所内 JC 担当
TEL 0258-81-1300 FAX 0258-83-3632
E-mail info@ojiyajc.org URL : [http:// www.ojiyajc.org](http://www.ojiyajc.org)

2 . 青年会議所の概要等

(1) 青年会議所とは

青年会議所(J C)は、“ 明るい豊かな社会 ” の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらしとする青年の団体です。

青年は、人種・国籍・性別・職業・宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。

50余年の歴史をもつ日本の青年会議所運動は目覚ましい発展を続けておりますが、現在720余の地域に約4万名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。

全世界に及ぶこの青年運動の中核は国際青年会議所ですが、112ヶ所の国及び地域に国際青年会議所があり、約27万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。

日本青年会議所の事業目標は、“ 社会と人間の開発 ” です。その具体的な事業として我々は市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し「自由」を基盤とした民主的集団指導能力の開発を推し進めています。

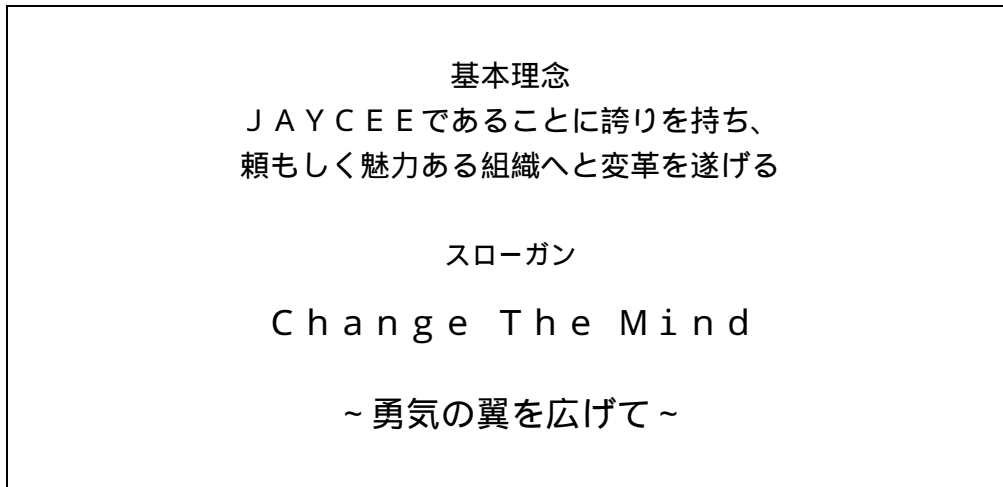
さらに、日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。

(数字は2006年現在)

(2) J C 三信条

・奉仕(サービス) ・修練(トレーニング) ・友情(フレンドシップ)

(3) 2010 年度 (社) 小千谷青年会議所 基本理念及びスローガン



(4) 2010 年度 (社) 小千谷青年会議所 理事長所信・基本方針・重点事業

理事長 村田正

【理事長所信】

- はじめに -

近年の社会・経済情勢の劇的变化により、今日我々は年金・医療・食品・雇用・経営など様々な分野で、不安や不信、そして困難を強いられる時代を生きているといえます。青年会議所においても景気の低迷や価値観の多様化により会員数が年々減少傾向を辿り、素組織疲弊が起き、良い意味での「古き良き時代の J C 」が失われつつあります。このマイナススパイラルから脱却し、市民から必要とされる J C であるためには質の向上と量の確保という二つの問題を解決することが必須です。

そのためには、青年経済人としての美德とは何かを会員全員で議論し、自らの潔い覚悟として、日々実践するためのスキルや礎となる高い志と誇りを持ち合わせ、積極的に自分自身と社会を変革していかなければなりません。そして我々の存在意義を諸団体はじめ多くの市民に広くアピールし、透明性の高い活動と強固な団結力をもって行動し、何事にも迅速な対応を心掛けることが必要だと考えます。

- 響心伝播 -

信念を込めた J C 活動を通して、まずは自分自身が成長を遂げ誰かの役に立つことで還元し、自らの組織や社会の公器へと成長させ地域に貢献します。また、リーダーの重要な資質である「伝達能力」を磨くための例会を実践します。限られた短い時間の中で要点を語り、想いを伝えるスピーチには、時として人の心を打ち抜き涙さえ誘う力が秘められているのです。うわべの言葉だけでは心に響きません。J C 活動を通して鍛えられた自らの知識を背景に、多くの経験を積むことで、飛躍的にその能力は向上するはずですが。そして広く社会に対して戦略的かつ攻撃的に伝播することが我々の必須事項である会員拡大に繋がり、更には新入会員に対し我々のあるべき姿を行動と実践で示し、各事業や活動を通して友情の素晴らしさと達成感を体感す

ることで、未来を担う次世代の J A Y C E E としての誇りをもてるものと信じています。
また、マニフェスト型公開討論会や憲法タウンミーティング等、ニュートラルな立場である青年会議所にしかできないことも沢山あり、存在価値や存在意義を認識するためにも報道機関との連携を計りながら市民へ向けた対外広報を実践し、理念に基づいた青年経済人らしい巧妙な計画と青年らしい大胆な活動をもって地域社会に伝播することで、市民や行政への認知度や理解度向上に大きな効果をもたらすものと考えます。
脈々と受け継がれてきた先人の志や伝統そして歴史を大切に継承し、今ある自分と組織、更には社会をも変革する勇気をもって、大勢の人々から沢山の「ありがとう」が頂けるよう邁進します。

- 唯一無二 -

青年会議所は本当に地域から期待されている団体でしょうか。行政から頼りにされている団体でしょうか。ともすれば地域のリーダーというのは自己満足の呼称ではないでしょうか。「青年会議所しかなかった時代」から、NPO法人や各種団体が活発に活動されている現在では「青年会議所もある時代」とよく言われ、一昔前に比べると「JCって何をやっているの?」「どんな団体?」と思う人々の割合が増大していると思われまます。そのような疑問に明確な回答を示すためにも、また真のリーダーとして復権するためにも様々な角度から事業を精査し、真意を追及した価値のある活動をしていかなければなりません。そのためには自分自身のJCに対する志をもう一度見つめ直し、潔い覚悟をもって行動していきます。そして、社団法人小千谷青年会議所の主たる目的である「明るい豊かな社会」の実現のために長期的な観点での運動指針の確立と実践による発展が必要であり、継続性及び一貫性をもったものとして推進していくことが望ましいと考えます。

創立から半世紀が過ぎた今だからこそ、根底から活動を見つめ直し、新たなるJCのスタイルを提示する使命が我々にはあります。今の時代に合わないものは全て変革を行い、勇気をもってこの時代に見合うものへと進化を遂げる。それは社団法人小千谷青年会議所が持つ義務であり、歴史を築いた先輩から受け継いだ永遠の理念であると考えます。

- 実践躬行 -

実行なくして世の中のことは解決できません。無心になって全力を傾けると不思議とまわりの見る目も違ってきます。全身全霊をかけて取り組んだ時に、自分でも思いがけない力を発揮するものであり、そこから何かが生まれてくるのです。「夢中になれば何かが生まれる」そうやって何事にも精一杯、夢中になってぶつかり合い、そして常に積極的でなければなりません。やらされるのではなく、自らが進んで実践する。そう決心した瞬間から気持ちも楽になるものです。なぜなら強く心に決めると、後ろは振り向かず前向きに歩き出すからです。悩むことも必要ですが、一旦こうと決めたら失敗を恐れず、脇目も振らずに前進あるのみです。そしてまた人生には無数の教訓が満ち溢れています。しかしどれ一つをとってみても、万人にあてはまるものはありません。それを教訓とするかどうかは、我々自身の選択にかかっているのです。目の前の困難をチャンスと思うかどうか、その直感力、行動力が分かれ道になるのかも知りません。目標に向かって夢中になり強力な信念をもって行動する。その対象はできるだけ一つのこ

とに絞り込んで集中する。そうすることによって、様々なアイデアや今まで気付かなかったものが見えてくるようになり、また周囲からもその目標達成を援助するような色々な現象が現われはじめるはずです。どこまで信じ夢中でやり通せるかどうかは信念をもった継続が決め手になると考えます。我々は魅力的で澁刺颯爽とした意識変革を追求し実践躬行いたします。

- 温故知新 -

「古きを温め」「新しきを知る」経験のない新しいことを進めるにも、過去を充分学ぶことから知恵を得ようということであり、我々の組織や活動に大きな意味を持つ言葉であります。「古きを温め」の根底には青年会議所としての崇高な理念があり、熱い想いが存在します。今の時代に沿い次世代から求められる「JCへと変革を遂げる挑戦。すべては未来のために互いに議論を交わし55周年を迎える5年後の社団法人小千谷青年会議所を創造し、事業構築の段階でその手法が5年後にも通用するの可否かを勇気と誇りを持って議論いたします。そして時代を見据える変革を遂げるためには、リーダーとしての迅速な決断力が全てを握るといっても過言ではありません。真の能力を開花させ時代の変化に対応できる若いメンバーの育成は必要不可欠であり、本年度の委員長にはその若いメンバーを抜擢し、未来を意識した長期的思考にシフトチェンジしていきます。

- 最後に -

新たなるその第一歩を踏み出す2010年。これまでの50年という小千谷青年会議所の歴史と伝統を築いてこられた先輩諸兄に敬意を表するとともに、我々のJC活動に対して理解ある家族、そして小千谷青年会議所に常日頃から多大なるご支援をいただいている地域の方々に感謝し、更なる組織変革と会員拡大、そしてこの地域から必要とされるJCを目指し、勇気の翼をいっぱいに広げて愛する光り輝く地域「おぢや」の未来のために邁進いたします。

・・・社団法人小千谷青年会議所の新たなるステージに向かって。

【基本方針】

1. 志高きJCに誇りを持ち、魅力ある組織の確立。
2. 青年経済人としての美德を心得し、効果的な社会貢献を目指す。
3. 長期的ビジョンを確立し取り組む。
4. 広報の重要性を認識し、公益事業を展開する。

【事業計画】

1. 会員拡大事業
(会員拡大実践会議を設け新入会員18名入会の実践)
2. 深川協同事業
(「おぢや自慢探検隊」を通して子どもたちの健全育成を育む)
3. わんぱく相撲の開催事業
(相撲を通して礼節と相手への思いやりの心を育む)
4. 例会の充実

(眞のリーダーとなるための質の高い例会の実施)

5 . 長期的ビジョン 地域力討究事業

(「 明るい豊かな社会 」 の実現に向け長期的な観点での運動指針の検討及び検証)

6 . 長期的ビジョン 教育事業

(未来を担う子どもたちに夢や希望を育む長期的事業としての実施)

7 . 50th “ LoveTree ” デコレイトプロジェクト

(50周年記念植樹の「もみの木」を地域のシンボルとして定着)

8 . 公益社団法人格取得へ向けての準備

(公益社団法人格取得に伴う調査とスケジュールリング)

(5) 2010年度(社)小千谷青年会議所の概要

創 立	1959年9月21日
認 証	1959年9月11日(認証番号 169)
法人格取得	1984年6月 8日(社団法人取得番号 426)
理 事 長	村田 正
事 務 局	〒947-0021 小千谷市本町2丁目1-5 小千谷商工会議所内
	TEL 0258-81-1300
	FAX 0258-83-3632
会 員 数	70名(2007年12月1日現在)
事 務 局 員	吉澤